



# 十六銀行



# 十六総合研究所

2024年9月27日

各位



## 株式会社スターシステムとの ポジティブインパクトファイナンス契約の締結について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）および株式会社十六総合研究所（社長 佐竹 達比古、以下「当社」といいます。）は、株式会社スターシステム（代表取締役 稲葉 弘承）とポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」といいます。）契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

PIFは、当行および当社にて、事業者さまの活動が外部（環境・社会・経済）に与えるインパクト（影響）を評価（特定・分析）し、ポジティブなインパクトの創出とネガティブなインパクトの低減に資するKPIを設定のうえ、定期的なモニタリングを通じてその達成に向けた取組みを支援していくことを目的とする資金調達手段です。

当行および当社は、PIFを通じて事業者さまと共通価値の創造をはかり、ともに持続的な成長を目指してまいります。

記



### 1. PIF契約概要

コース	ローンコース
融資金額	100百万円
資金使途	運転資金
期間	5年

### 2. 企業概要

所在地	愛知県名古屋市中村区名駅5丁目28番1号
事業内容	ソフトウェアの企画・設計、システム開発・保守・運用、工作機械および搬送機の機械設計・電気制御設計
設立	2005年5月
資本金	25百万円

3. インパクト評価（要旨） ※ 詳細は後掲の「評価書」をご参照ください。

特定インパクト	K P I	関連SDG s
産業の活性化を 目指したIT ソリューションの 提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年4月期までに売上高3,000百万円以上とする。 (2024年4月期実績: 2,106百万円)</li> <li>2030年4月期までに、東京事業所の売上高を1,000百万円以上とする。 (2024年4月期実績: 500百万円)</li> <li>2029年4月期までにDXおよびAIに関する新規事業を立ち上げたうえで、売上高100百万円以上とする。</li> </ul>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>
環境に配慮した 事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年4月期までに営業車の70%をエコカー（EV車・HV車）とする。 (2024年4月期実績: 40% = 2台 / 全5台)</li> </ul>	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>
働きがいのある 職場環境の整備と 新規雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年4月期までに、従業員数を310名以上とする。 (2024年4月期実績: 252名)</li> </ul>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>

以 上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL 058-266-2511】

株式会社スターシステム  
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年9月27日



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

十六総合研究所は、十六銀行が株式会社スターシステム（以下、「スターシステム」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、十六総合研究所が十六銀行と共同で開発した評価体系に基づいている。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

# 目次

<b>1. 企業概要と理念、サステナビリティ</b> .....	- 3 -
(1)スターシステムの概要ならびに経営理念 .....	- 3 -
(2)スターシステムのサステナビリティ.....	- 6 -
<b>2. インパクトの特定</b> .....	- 8 -
(1)事業性評価 .....	- 8 -
(2)バリューチェーン分析.....	- 9 -
(3)インパクトレーダーによるマッピング .....	- 10 -
(4)特定したインパクト .....	- 13 -
(5)インパクトニーズの確認 .....	- 16 -
(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認.....	- 18 -
<b>3. インパクトの評価</b> .....	- 19 -
<b>4. モニタリング</b> .....	- 22 -
(1)スターシステムにおけるインパクトの管理体制 .....	- 22 -
(2)当社によるモニタリング .....	- 22 -

## 1. 企業概要と理念、サステナビリティ

(1)スターシステムの概要ならびに経営理念

### 【企業概要】

社名	株式会社スターシステム
代表者	代表取締役 稲葉 弘承
所在地	本社：愛知県名古屋市中村区名駅 5-28-1 東京事業所：東京都港区芝浦 3-20-6 犬山開発室：愛知県犬山市橋爪中島 2 犬山ファクトリーセンター（生産工場）：愛知県犬山市松本町 4-95 広島事業所：広島県広島市南区京橋町 1-7 伊勢営業所：三重県伊勢市宮町 1-3-10
事業内容	ソフトウェアの企画・設計、システム開発・保守・運用 工作機械および搬送機の機械設計・電気制御設計
資本金	25 百万円
設立	2005 年 5 月
従業員数	252 人（2024 年 4 月期）
売上高	2,106 百万円（2024 年 4 月期）
関連会社	株式会社ヴィーナソリューション 株式会社 Sharing FACTORY 瀋陽穂士軟件有限公司（Star-System Shenyang）

### 【企業沿革】

2005 年 5 月	株式会社スターシステムを設立
2009 年 7 月	関連会社の株式会社ヴィーナソリューションを設立
2012 年 9 月	名古屋本社を本社所在地に移転
2015 年 10 月	関連会社の瀋陽穂士軟件有限公司を設立
2016 年 7 月	広島事務所を設置
2023 年 2 月	伊勢営業所を設置
2023 年 12 月	株式会社 Sharing FACTORY の 90%の株式を取得



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

スターシステムは、愛知県名古屋市に本社を構え、情報系システムの開発および製造業向けの制御・電気設計等のエンジニアリングサービスを手掛けている。

具体的には、ソフトウェアの企画・設計、システム開発・保守・運用、工作機械および搬送機の機械設計・電気制御設計のほか、アプリケーションの開発業務や IT サポートなど各種 IT システムの開発・運用・保守、キッティング作業(※)、また同社が培った IT やものづくり技術を用いて企業の課題解決を行うコンサルティングサービスなど、多岐にわたる事業を展開している。

※キッティング作業：PC やスマートフォン、タブレットなどのデバイスに対して、デバイスを使えるようにするために各種設定やソフトウェアのインストール、ハードウェアの構成などを行う作業全般のこと。

【同社組織図】 ※同社 HP より引用。



**【社是】**

スターシステムグループは、常に感謝の気持ちを抱き、笑顔で明るい人創りをする。

スターシステムグループは、「信頼は人から」の考えで粘り強く行動する。

スターシステムグループは、寛容さと道徳を重んじて人間力と技術力を高める。

スターシステムグループは、仕事を通じて、徳を積み、品格を高める。

**【経営理念】**

私たちスターシステムグループは常に感謝の気持ちを抱き、徳を積む仕事をする事で、人間力と技術力のある人を育て品格を高める事を目的とする会社を形成します。

全社員が一丸となり、お客様に最大限のサービスを提供します。

ただ利益を追求するだけの会社では無く、仕事を通じ幸福を追求します。

企業価値の向上により、社会に認知され、いい人たくさん（IT）で社会貢献し続ける企業を目指します。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所



## (2)スターシステムのサステナビリティ

同社は本業を通じて、社会の発展並びに地球環境保全、および持続可能な社会の形成に向けた取り組みを行っている。

### 【株式会社スターシステムの SDGs 宣言（下表は同社 HP を基に十六総研にて作成）】

<p>信頼できるエンジニアリングサービス</p>   	<p>高い品質と安全性に基づいた顧客から信頼されるエンジニアリングサービスを通じて、様々な業界の技術革新を支える企業になります。</p> <p>&lt;具体的な取組み&gt;</p> <p>近年多様化するお客様からの様々な技術要件（IT 技術、制御設計、電子・電気設計、機械設計）と、様々なサービス形態（技術派遣業務、構内受託、社内受託等）にお答えできるようサービスを提供できる工夫をします。</p>
<p>人材育成と人権</p>    	<p>信頼できるモノづくりを実行する人財を継続的に育成するとともに、女性が活き活きと働ける職場づくりを行うことなどを通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。</p> <p>&lt;具体的な取組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT 技術、電子・電気技術・機械技術等の各技術サービスに関する技能向上のため、全社員に常に学習できる機会提供と、社内グランプリ制度導入による技術研究への機会創出や恒久的な技術力向上を目指します。</li> <li>・社員のビジネス能力向上のため、経営マネジメント手法や・ビジネスマネジメント手法を全社員に教育し、その制度の拡張と普及に努めます。</li> <li>・IT 技能及び電子・電気設計技術、機械設計技術等に関する各種資格保有者を増強します。</li> <li>・女性の採用推進と時短・育休制度の充実等、また働き方改革のより一層の推進を目指します。</li> <li>・女性管理者を増やします。</li> </ul>

## 環境対策



環境に配慮したごみ排出量の削減への推進、IT 技術を活かした移動時間や移動エネルギーの削減推進等を通じて、地球環境の保護に貢献してまいります。

### <具体的な取組み>

- ・マイボトルの導入によるペットボトル消費削減を行います。
- ・廃棄物のリユースを活性化させ、社内抑制目標の設定と達成への取組みを行います。
- ・Web 会議の活用で移動に伴う CO2 排出量の削減をします。
- ・遠隔地でも業務ができるよう通勤に伴う CO2 排出量の削減と働きやすさを両立した環境提供します。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

## 2. インパクトの特定

### (1)事業性評価

同社は、ソフトウェアの企画・設計、システム開発・保守・運用、工作機械および搬送機の機械設計・電気制御設計など、同社の高い技術力を生かして多岐にわたる業務を手掛けている。事業内容の詳細は以下の通り。

#### ①テクニカルエンジニアリングサービス

ソフトウェア設計・開発、組み込みシステム開発のサービスなどを顧客に提供している。

大規模プロジェクトにおいて技術要員が必要な場合や、製品開発や新規サービスなどの機密性が高い業務や新規企画の提案などに関して、顧客に同社の技術力を提供している。

サービス提供方法は、同社の人員を顧客へ派遣する「派遣サービス」と、同社と顧客で請負契約を締結する「請負サービス」の2種類あり、顧客にとって最適な技術支援を提供する体制を整備している。

#### ②受託・委託（ラボ）サービス

同社の拠点にて、システムの構築・開発を手掛けている。

具体的には、社内クラウドサービスなどの新規システム構築・開発や、各種業務システムの開発・運用サポート、社内 PC セットアップなどのサポートサービス、工作機械や制御盤の設計・組立業務等が挙げられる。

#### ③プロダクトサービス

同社の技術や社員の力を活かして、顧客のビジネスに役立つ IT サポートを展開している。

具体的には、デバイスのセッティングを行うキッティング作業、システムの運用・保守、HP 作成などを手掛けるほか、AI エンジニア育成講座を開講し、社外に対してプログラミング技術の教育も行っている。

#### ④コンサルティングサービス

同社のノウハウを生かしたコンサルティングを通じて、ユーザー目線に立った顧客の課題解決におけるサポートを行っている。

具体的には、DX を活用したブランド構築や、競合比較・製品企画、既存サービスのメリット・デメリット分析、費用対効果・リスク分析、IT 顧問サービスなどを手掛けている。



人と、地域と、未来をむすぶ

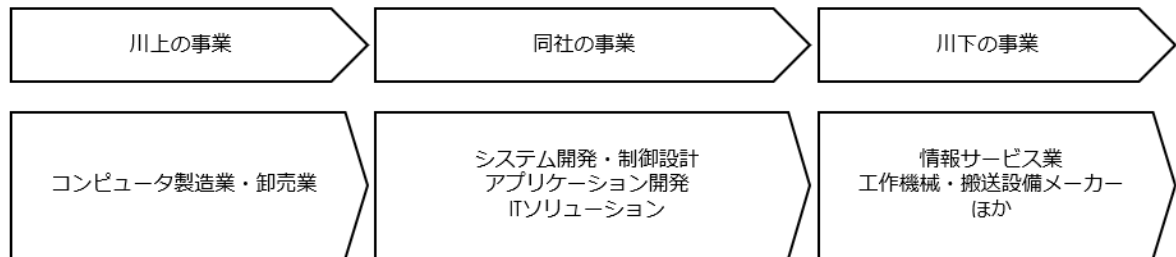
16FG 十六総合研究所

(2)バリューチェーン分析

同社は、制御技術を用いた「工作機械制御設計」、「搬送設備制御設計」、「組み込み系ソフトウェア開発」、「ロボット制御設計」を手掛けており、各種産業の活性化に貢献している。

他にはアプリケーション開発業務や電気・機械設計、各種 IT システム開発・運用・保守、キッティング作業、また当社が今まで培った IT やものづくり技術を用いて企業の課題解決を行うコンサルティングサービスを手掛けるなど、同社の技術力を生かして多岐にわたる IT ソリューションを展開している。

●同社のバリューチェーン図



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

(3)インパクトレーダーによるマッピング

●インパクトマッピング（インパクトレーダー改訂版 2022 に基づき十六総研作成）

バリューチェーン			川上の事業				同社の事業		同社・川下の事業				川下の事業		
国際標準産業分類			2620		4651		6209		6201		6202		2822		
			コンピュータ及び周辺装置製造業		コンピュータ、コンピュータ周辺装置及びソフトウェア卸売業		その他の情報技術及びコンピュータ・サービス業		コンピュータ・プログラミング業		コンピュータ・コンサルタント及びコンピュータ設備管理業		金属成形機械及び工作機械製造業		
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	
社会	人格と人の安全保障	紛争													
		現代奴隷		●●											
		児童労働		●●											
		データプライバシー						●		●		●			
		自然災害													
	健康および安全性	－			●		●		●		●		●		●
		水													
		食糧													
		エネルギー													
		住居													
		健康と衛生													
		教育													
		移動手段													
		情報													
		コネクティビティ				●		●		●		●			
	生計	雇用		●		●		●		●		●		●	●●
		賃金		●	●●	●		●		●		●		●	●●
		社会的保護			●		●								●
		ジェンダー平等							●●		●●		●●		
		民族・人権平等													
平等と正義	年齢差別														
	その他の社会的弱者														
	強固な制度・平和・安定														
	法の支配														
社会経済	健全な経済														
	セクターの多様性														
	零細・中小企業の繁栄	●		●		●		●		●		●		●	
インフラ	－														
経済収束	－														
自然環境	気候の安定性	－		●		●								●	
	生物多様性と生態系	水域		●		●								●	
		大気		●		●								●	
		土壌													
		生物種					●								
		生息地					●								
	サーキュラリティ	資源強度		●●					●●		●●		●●		●●
		廃棄物		●●		●									●

※マッピング中の「●●」は重要な影響があるトピック、「●」は影響があるトピック

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施した。

同社ならびに同社の川下の事業を国際標準産業分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させたうえ、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「その他の情報技術及びコンピュータ・サービス業（ISIC:6209）」「コンピュータ・プログラミング業（同 6201）」「コンピュータ・コンサルタント及びコンピュータ設備管理業（同 6202）」、同社の川上の事業については「コンピュータ及び周辺装置製造業（同 2620）」「コンピュータ、コンピュータ周辺装置及びソフトウェア卸売業（同 4651）」、同社の川下の事業については「コンピ



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

ュータ・プログラミング業（同 6201）」「コンピュータ・コンサルタント及びコンピュータ設備管理業（同 6202）」「金属成形機械及び工作機械製造業（同 2822）」を適用し、各事業で発生するインパクトの検証を行った。

#### 【川上の事業】

川上の事業においては同社が影響を与える範囲が限定的であることから、検証を省略する。

#### 【同社の事業】

同社の事業においてはインパクトマッピング上で発現が指摘されるインパクトエリアを網羅的に検証する。

「人格と人の安全保障（データプライバシー）」では、管理状況によっては顧客情報が流出する可能性が生じるという NI が発現する。

同社では個人情報保護指針を定め、個人情報保護規程の制定や全従業員に年に 1 回以上、個人情報の取扱いに関する教育を実施することで NI の低減に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「9.1:経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する」

「健康および安全性」「平等と正義」のエリアにおいては、労働条件によっては従業員への負荷が発生することや、男女格差が生じるという NI が指摘される。

同社では適切な人員配置や管理者により労務管理を行うことで働き改革を実施して、従業員のワークライフバランス向上に努めている。また、女性の採用推進と時短・育休制度の充実により NI 緩和に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「5.5:女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（コネクティビティ）」のエリアにおいては、システムの開発により、情報アクセスに寄与するという PI が発現する。

同社の制御設計やソフトウェア開発、システム開発・保守・運用、キッティング作業を通じて、ネットワーク利用をサポートし、PI の拡大に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「9.1:経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する」

「生計（雇用・賃金）」のエリアにおいては、労働によって従業員の生活が支えられるという PI が発現する。

同社は、従業員に対しての技能研修制度を充実させている。新人、リーダー、管理者、幹部候補など階層別に研修を実施することでスキルアップの取得のサポートを行うことで働きがいのある環境を整備し、PI の拡大に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

なお、「健全な経済（零細・中小企業の繁栄）」の PI、「サーキュラリティ（資源強度）」の NI におけるインパクトについては、同社事業との関連性が希薄であると判断し、検証を省略した。

#### 【川下の事業】

川下の事業においては、同社と関係のあるインパクトについて検証する。

川下の事業においては、「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（コネクティビティ）」のインパクトエリアにて重要な影響があるインパクトが発現すると考えられる。

「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（コネクティビティ）」のインパクトエリアではシステム開発により、情報アクセスに寄与するという PI が発現する。

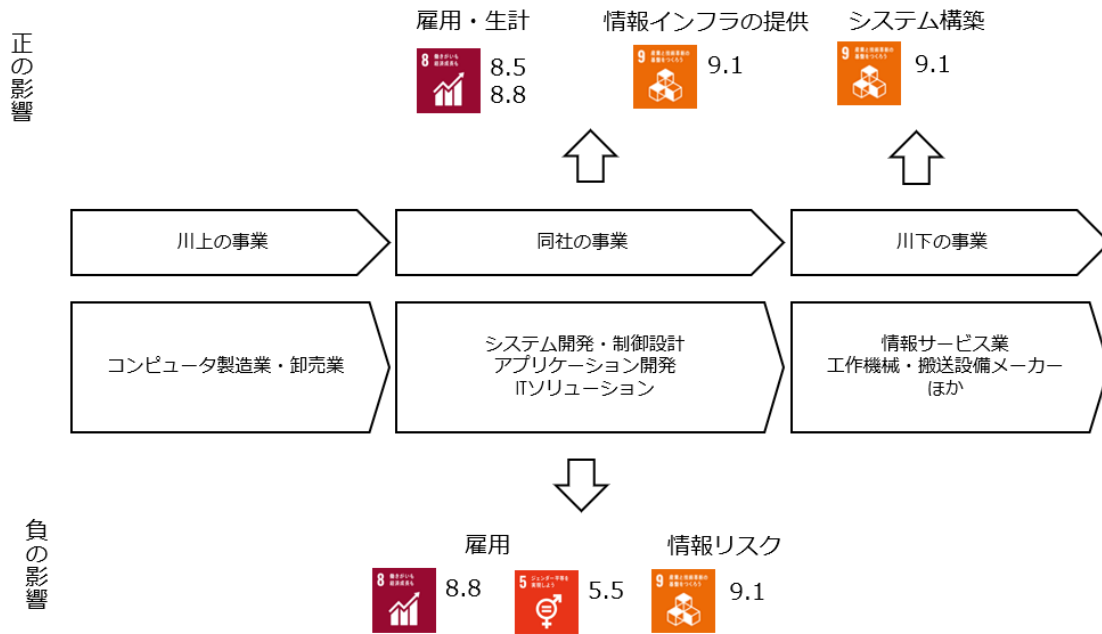
同社のシステム・ソフトウェア構築により、情報ネットワークを構築するほか、同社の人員を工作機械や搬送機メーカー等に派遣のうえ、正確な制御設計システムを構築することで、PI の拡大に努めている。

SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「9.1:経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する」

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同社のインパクトを下記のように特定した。

- 産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供
- 環境に配慮した事業活動
- 働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所



## ■ 産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供

同社は前述の通り、ソフトウェアの企画・設計やシステム開発・運用など幅広い IT ソリューションを提供している。大規模プロジェクトの場合などは、同社の人員を顧客へ派遣のうえ、システムを開発することが可能な体制を整備するなど、顧客のニーズに応じたサービス提供を行っている。

現在、同社の事業は中部圏における取引が高いものの、今後は情報サービス業の産業集積地である関東圏での取引を増加させていく計画である。また、現在の同社拠点（愛知・東京・広島）に加え九州に新たに拠点を設け、日本全国に同社の IT 技術を供給して産業を支えていく方針である。

加えて、イノベーションにより絶えず変化する IT 業界において、今後 DX や AI に関わる新規事業を立ち上げ、AI 人材を顧客に派遣のうえ、各社の課題解決に向けてサポートするほか、同社の技術を広く伝承するため AI 人材育成を支援するサービスを展開していく予定である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（コネクティビティ）」のエリアに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

・「9.1:経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する」

## ■ 環境に配慮した事業活動

同社は、環境に配慮した事業活動により、環境的側面において負の影響を低減している。具体的には、同社で保有する営業車を順次エコカーに切り替えるほか、新規に営業車を導入する際にエコカーを採用することで環境負荷を低減していく方針である。

また同社は、SDGs 委員会を立ち上げ、SDGs に貢献するアイデアを募ったうえで、全社横断的なプロジェクトを展開のうえ、プロジェクトの導入に伴う廃棄物の削減量などの効果測定も行っている。具体的には、同社でエコバックやエコボトルを作成のうえ、従業員に配布することで、廃棄物を削減するほか、業務資格に関する参考書などスキルアップに関する書籍を社内の従業員へ貸出する制度を整備するなど、同社独自の取組みを行っている。

今後は、同社で保有する営業車を順次エコカーに切り替えるほか、新規導入する営業車にエコカーを採用することで、環境負荷低減に取り組んでいく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトエリア・トピックでは、「気候の安定性」のカテゴリに該当し、環境的側面において NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

・「13.3:気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

## ■ 働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出

同社は、人材育成に注力しており、働きがいのある職場環境の整備により、新規雇用を創出している。具体的には、大学や専門学校、職業訓練校より年間 50 人近くのインターンシップを受け入れており、入社に至る社員も多い。また、新卒社員に対しても、プログラミングやビジネスマナーに関する研修など入社から約半年にわたる社内 OJT のカリキュラムを構築しており、IT 業界の知識や社会人としてのマナーを学ぶこともできる。また、リーダー、管理者、幹部候補など各階層別の研修も充実させており、従業員のキャリア形成をサポートしている。

また、人事評価制度に関しても、個人とチームの目標を立て、年 2 回の上司との面談により、社員ひとりひとりの評価方法を見直すなど、従業員へのフォローを行っている。この人事評価制度により業務の見える化を進めるとともに、公平な制度の構築に努めている。

今後は、上記の取組みにより、従業員の働きがいのある環境の醸成に努め、新規雇用の創出に取り組んでいく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「生計（雇用）」のエリアに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

## (5)インパクトニーズの確認

### ①日本におけるインパクトニーズ

同社の売上高の大半が日本国内におけるものである。国内における SDGs インデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 3 点である。

「8:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」

「9:強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」

「13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

国内における SDG ダッシュボード上では、「8」に関しては「大きな課題が残る」、「13」に関しては「重要な課題が残る」とされており、同社の、環境に配慮した事業活動が、国内のインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出所 : SDSN)

## ②愛知県におけるインパクトニーズ

また、同社の本社所在地が愛知県におけるものであることから、「愛知県 SDGs 未来都市計画（第2期）」を参照し、愛知県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。下記のとおり、愛知県は「カーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要」としており、同社の環境に配慮した事業活動などが、愛知県内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

「愛知県 SDGs 未来都市計画（第2期）」より今後取り組む課題を抜粋

### （経済面）

○ デジタル化の急速な進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる中、自動車産業を始め、あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進が必要。

### （社会面）

○ 今後、人口減少局面に転じるとともに、急速に高齢者が増加。すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくことが課題。

○ 若年女性の東京圏への流出超過が拡大する中で、持続的な発展のためには、若年女性の流入・定着が重要で、企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくことが課題。

### （環境面）

○ 都市化や産業活動により失われた各地域の生態系を再生・回復、維持していくためには、多様な主体が連携して生態系を守っていくことが課題。また、我が国随一の産業県として、企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認

ここでは特定した PI について追加性があること、十六銀行の SDGs の取組みと方向性が同じであることを確認する。本 PIF で特定した PI は「産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供」と「働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出」である。

「産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供」では、同社の幅広い IT ソリューションサービスの提供可能な地域を拡大させ、システムおよびネットワーク構築に貢献していく。

「働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出」では、階層別研修など人材育成に取り組むとともに、時間外労働の削減などによって、従業員の働きやすい環境の整備に努め、新規雇用の創出に努める。

以上から、上記の PI は SDGs を達成するために、効果が期待できる取組みであり、追加性があるものと評価できる。

十六フィナンシャルグループでは、「十六フィナンシャルグループ SDGs 宣言」の中で「地域社会の活性化」「地域社会の持続的発展」「多様な人材の活躍推進」「環境保全と気候変動対策」「ガバナンスの高度化」の 5 つを SDGs 達成に向けた重点課題（マテリアリティ）としている。

本 PIF で特定したインパクトは「産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供」については「地域社会の活性化」、「環境に配慮した事業活動」については「環境保全と気候変動対策」、「働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出」については「多様な人材の活躍推進」と、それぞれ方向性が一致する。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。




人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

### 3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

#### ■ 産業の活性化を目指した IT ソリューションの提供


項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア・トピック	「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（コネクティビティ）」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・同社の IT ソリューションを情報サービス業の産業集積地である関東圏で増加させ、サービスの提供範囲を拡大する。</li><li>・DX および AI に関わる新規事業を立ち上げ、顧客の課題解決に向けたサービスを展開する。</li></ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"><li>・2030 年 4 月期までに売上高 3,000 百万円以上とする。 (2024 年 4 月期実績：2,106 百万円)</li><li>・2030 年 4 月期までに、東京事業所の売上高を 1,000 百万円以上とする。(2024 年 4 月期実績：500 百万円)</li><li>・2029 年 4 月期までに DX および AI に関する新規事業を立ち上げたうえで、売上高 100 百万円以上とする。</li></ul>



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 環境に配慮した事業活動

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア・トピック	「気候の安定性」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社における既存の営業車を順次エコカーに切り替えるほか、新たに導入する営業車は当初よりエコカーとし、エコカー比率を上昇させる。</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年4月期までに営業車の70%をエコカー（EV車・HV車）とする。</li> <li>（2024年4月期実績：40% = 2台/全5台）</li> </ul>

■ 働きがいのある職場環境の整備と新規雇用の創出

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面のポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア	「生計（雇用）」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修の実施により人材育成に取り組み、働きがいのある職場環境を整備することで、雇用の創出につなげる。</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年4月期までに、従業員数を310名以上とする。 (2024年4月期実績：252名)</li> </ul>



## 4. モニタリング

### (1)スターシステムにおけるインパクトの管理体制

同社では、稲葉社長が中心となり自社業務や事業計画などの棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。

今後についても、稲葉社長を統括責任者として業務を担当のうえ、SDGs の推進ならびに本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

#### 【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役 稲葉 弘承
-------	-------------

### (2)当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と十六銀行、十六総合研究所の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、十六総合研究所が現時点で入手可能な公開情報、スターシステムから提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 十六総合研究所が本評価に際して用いた情報は、十六総合研究所がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。十六総合研究所は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は十六総合研究所に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所